

## 地域・まちづくりに関する取り組み

事例選考と並行して実施した「男女共同参画の視点に立った地域の活動事例調査」に寄せられた事例のうち、男女共同参画の視点がある活動を紹介します。

### ■特定非営利活動法人 よろい潟【新潟県新潟市】

#### 女性の参画なくしては、活動が成り立たない

地域の活性化を図ることを目的に、農家が新鮮な野菜を持ち寄って地域に向けて販売・提供する直売所『くにみ』を立ち上げてから8年。直売所以外にも幅広く地域と地域農業の発展に関わる地産地消活動をしていくため、NPO法人を設立しました。小学校の給食食材の提供、小学校児童の食育の支援、新潟大学の留学生との国際交流などの活動を行っています。

現在も活動の中心となっている直売所『くにみ』を運営する店員の平均年齢は70歳。25名中18名が女性で、女性の参画なくしては運営が成り立ちません。農産物販売が高齢者の生きがいになり、消費者の顔が見えて交流が広がるなど、いろいろな面で効果をあげています。

### ■特定非営利活動法人 エコ・コミュニケーション・センター（ECOM）【東京都豊島区】

#### 子どもたちや市民の力を高める活動で、地域の問題解決を支援する

子どもたちや市民の力を高め、持続可能な地域づくりに寄与することを目的として活動しています。としまNPO推進協議会が開設した「みんなのえんがわ池袋」は、一人暮らしの高齢者や外国人が多い池袋3丁目に地域サロンをつくろうと当センターのスタッフが提案し、企画・コーディネートをしている活動です。空き店舗対策事業の補助期間終了後を見越した体制づくりを進め、現在は地域の方たちが当番制で運営する活動に育っています。また、例えば高齢化率34%の高島平団地で「守られる側から守る側へ」という考えのもと行っている中学生の防災教育など、市民の力による問題解決の取り組みを積極的に紹介し、橋渡しに努めています。

### ■特定非営利活動法人 楽笑【愛知県蒲郡市】

#### 地場産業の担い手として、障害のある人や女性の就労を支援する

障害のある人もない人も、好きな地域で暮らし続け、地域の人と共に生きられるような普通の社会の実現を目指して、障害のある人に日中活動の場を提供し、就労支援を行っています。「近くに主婦でも働ける場所がほしい」、「子どもたちが安全に集まれる場所がほしい」、「子どもたちがおつかいの練習ができる場所がほしい」などの地域ニーズと、障害のある人の日中活動をマッチングさせ、パン工房、干物屋を開設しました。

地元の主婦たちも地場産業のすばらしさを伝えるイベントを企画・実施し、地場産業の新たな担い手として活躍しています。